

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 10 月 6 日 (2011.10.6)

【公開番号】特開 2010-85782 (P2010-85782A)
 【公開日】平成 22 年 4 月 15 日 (2010.4.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-015
 【出願番号】特願 2008-255680 (P2008-255680)
 【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/00 3 0 2

G 0 9 F 9/00 3 0 4 B

G 0 9 F 9/00 3 5 0 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 8 月 24 日 (2011.8.24)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

表示パネルと、

表示パネルを収容する収容部と、

表示パネルの側面側に形成され垂直方向に延びる通気部と、

表示パネルの裏面側に配置され前記通気部に延びる複数のヒートパイプと、

前記複数のヒートパイプのそれぞれを両側から挟むように接続される放熱部材を備え、

前記放熱部材は、前面側に配備される第 1 放熱部と、背面側に配備される第 2 放熱部とを含み、

前記各放熱部は、ヒートパイプを勘合するための溝部を有する画像表示装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 0 7 】

本発明に係る画像表示装置は、表示パネルと、表示パネルを収容する収容部と、表示パネルの側面側に形成され垂直方向に延びる通気部と、表示パネルの裏面側に配置され前記通気部に延びる複数のヒートパイプと、前記複数のヒートパイプのそれぞれを両側から挟むように接続される放熱部材を備え、前記放熱部材は、前面側に配備される第 1 放熱部と、背面側に配備される第 2 放熱部とを含み、前記各放熱部は、ヒートパイプを勘合するための溝部を有する。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】削除
 【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明に係る画像表示装置によれば、屋外に設置することが可能であり、且つ表示パネルの機能を良好な状態に維持することが可能である。更に、各ヒートパイプに対する放熱フィンの取付け作業を簡略化がすることができる。